

社会貢献委員長等による子どもの事故未然防止巡回活動の実践

中国遊技機商業協同組合（山本基庚理事長）では、毎年全日遊連において実施されている「子どもの車内放置事故防止対策」の取組み趣旨に賛同し、平素からホール様と連携のある組合員が「ホール駐車場等における子どもの車内放置事故ゼロ」を目指し巡回活動を実施しておりますが、より効果的な実践的活動を行なうための実態把握として、順次、中国遊商管内の各県遊協を通じてホール様にご協力をお願いし、今回は3月9日、管内最後となる島根県内2カ所のホール様を山本紘司社会貢献委員長等2名が訪問しました。

はじめて訪問するホール様とは事前の連携と協力体制を密にし、実施当日は新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、巡回前に各店長から平素の巡回コースや実施時間帯等をお聞きしその後、各店舗において店長自らご案内をいただきながら、組合専用の黄色のチョッキに幼児車内放置ゼロの腕章(中国遊商作製)を付け立体駐車場や平面駐車場の駐車車両合計100数十台についてそれぞれ巡回活動を実践しました。

各店舗駐車場の巡回では、無施錠の車両はなくチャイルドシート付きの車両は散見されるなか、子どもの乗車は認めませんでした。今回、各店長からの説明を受け、また一緒に巡回する機会に触れ、駐車場における子どもの車内放置事故防止に対する意識の高さやホール様として、様々な積極的な取組みをされていることを改めて認識させていただきました。

今回の活動を通じて巡回時間帯の設定や視認が困難な車両内確認、立体駐車場の各階の選定等の重要性を再認識し、今後も子どもの尊い命を守るための活動として取り組んでいきたいと考えています。

(写真1)



(写真2)



ホール様2店舗の各店長と中国遊商(黄色チョッキ) による
屋外駐車場の合同点検、確認状況